

■投稿をお待ちしています。 ✉ koho@city.makurazaki.lg.jp



憧れの硫黄島を訪ねて

中釜博郎さん (明和町)

11月18、19日の日程で実証運行の「フェリーみしま」に古くからの友人6名で乗船し、硫黄島ツアーに参加しました。

鬼界ヶ島の異名をもつ硫黄島は、悲運の僧「俊寛」や平家ゆかりの地として有名です。島ではジャンベ体験や漁業体験船「みしまII」での釣り、眺望豊かな露天風呂の「東温泉」など大いに満喫しました。夜は島宿の温かいもてなしもあり、村役場のツアー担当者や、三島村物産振興会の方々とのおしゃべりで楽しく過ごしました。

6年前にリターンして以来、訪島したいと熱望していた硫黄島は想像以上に素晴らしいところでした。今度は黒島も旅したいと思っています。

今回のメンバーは全員、「フェリーみしま」の枕崎就航実現を切に願っています。みなさんも実証運行を利用して三島村の大自然と心温まるおもてなしを満喫してほしいかでしょうか。



▲ジャンベ体験ではテンポのいいリズムにみんなノリノリでした。



カメからのメッセージ

白澤玲子さん (白沢西町)

長浜海岸は、海と空がダークブルーに溶け合う最高のステージです。海の向こうには、勇壮な開聞岳や噴煙を上げる硫黄島などが見えます。毎日何気なく散歩していた長浜海岸にウミガメが産卵のため上陸すると聞いたのは5月のこと。こんな身近な所に上陸すると聞き嬉しく思いました。

5月のある日、ウミガメが死んでいるという情報が入り現場に行きました。産卵のために上陸したのに尊い命を落としてしまい残念でした。辺りを見回すと、プラスチック片や飲料缶等の大量のゴミに驚きました。ビニール袋をえさのクラゲと間違え飲み込み窒息死することもあるそうです。ウミガメ保護監視員の方が毎日清掃をしても、ゴミは後を絶たないとのこと。この大量のゴミが産卵に悪影響を与えているのではないだろうか。

平成21年、白沢の海岸に上陸したウミガメは76頭で、うち産卵したのは27頭。産卵を断念したカメが多かった原因はどこにあるのか、カメが問題提起してくれたような気がします。

ウミガメを守るためには、安心して産卵できる環境保護が必要です。私は、多くのウミガメが安心して産卵できることを期待して海岸の清掃を始めました。環境保護活動が地域全体での活動となり、住民のパワーで枕崎がウミガメの聖地となることを祈ります。



がんばる スポ少

スపోツ少年団紹介⑥ 別府野球スపోツ少年団

強いチームである前に 強いチームで

▼キャプテンの中崎一輝です。別府野球スపోツ少年団は、平成21年に創立30周年を迎え、OB・育成会の方々とたくさん協力のもと、記念大会を11月7日、総合グラウンドで開催することができました。

僕たちは「強いチームである前に、良いチームで」を目標に、永澤輝昭監督の指導のもと活動しています。「お願

いします。ハイ。ありがとうございます。」「お願

いします。ハイ。ありがとうございます。」「お願

いします。ハイ。ありがとうございます。」「お願

いします。ハイ。ありがとうございます。」「お願



豊田久男会長 10年間ご苦労さまでした

～第27回近畿枕崎会総会 投稿者：近畿枕崎会 新会長 宮路俊雄さん

■11月29日、道頓堀ホテルにて近畿枕崎会総会を開催しました。ふるさと枕崎から、瀬戸市長をはじめ各種団体の長、また関西鹿児島県連合会の方々等、多数のご臨席をいただき盛大な会となりました。

枕崎直送の刺身、つきあげ、焼酎など懐かしい故郷の味を堪能し、また懐かしき枕崎弁、ちゃんサネさんの歌謡ショー等会場は熱気に包まれました。

今回を最後に辞任される豊田会長には、役員一同及び枕崎会より、感謝の言葉を申し上げるとともに、引き続き枕崎会へのご協力をお願い申し上げました。新会長を拜命いたしました小職も引き続き、ふるさと枕崎と近畿枕崎会の発展のパイプ役として頑張る所存です。今後とも、ふるさと枕崎の皆様方のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。



豊田久男さん 10年間会長としての大役ご苦労さまでした



東京の『ふるさと会』盛大に開催

～第56回東京枕崎会総会、望郷の集い 投稿者：東京枕崎会 広報 小島芳郎さん

■第56回東京枕崎会総会及び「望郷の集い」が11月22日に開催されました。今年は枕崎市制施行60年の記念の年、会場には枕崎でのイベント行事の模様を紹介した工夫が施され、参加者は昔を思い出しながら、枕崎への想いを募らせていました。

枕崎市からは、瀬戸市長や畠野議長などの参加もありました。

今年も「ちゃんサネ」さんや「プラスガンマ(漫才)」「楠太鼓」の皆さんの友情出演があり、場を盛り上げてくれました。おはら節の踊り、カラオケそして1年ぶりの旧友との再会など、所狭しとあちこちで懇親の輪が広がり、楽しい時間はアツと言う間に過ぎていきました。集いの締めくくりは、全員で枕崎市民歌の大合唱♪♪♪、歌い終わると自然に大拍手が湧きおこり、会員の絆が一層強まった集いになりました。

参加者は、懐かしい故郷の味(腹皮・つけあげ・白波)をお土産に来年の再会を約束しながら帰路につきました。

『枕崎で活動している各団体マップ(仮称)』協力団体を募集

ゆい 結の会 枕崎

投稿者：結の会枕崎会長 近森 章さん



▲月1回の例会 活発な意見交換がされる

▼はじめまして。枕崎市で活動する「結の会 枕崎」です。平成21年3月に市役所水産商工課の呼び掛けにより発足したばかりの団体で、会員は16名、主に次のような活動をしています。

- ① 異業種間の交流促進
市内の異業種間の交流を促進させることにより、新製品開発・販路開拓・地域活性化の創出を、市の活性化の一役をにないます。
- ② 各団体の交流・協力を促す
枕崎市内で活動する各団体の交流・相互協力をうながし、より大きな力で市の活性化を目指します。

▼「結の会 枕崎」は、これまで月1回の会合を重ねてきました。その中で「枕崎をよりよいまちにしている団体が多く存在していることがわかってきました。

そこで、「枕崎で活動している各団体マップ(仮称)」を作成することになりました。目的は次のとおりです。

- ① それぞれ独自で活動している団体を手をつなぐことにより、相互に助け合いになる。
- ② 何かを始めたいという市民が各団体の活動に参加していただけるようにつなぐこととする。

賛同していただける団体は、ご連絡ください。こちらで準備した書類に記入していただき、それをまとめて冊子にします。

「よりよい、まちづくり」のため、みなさんのご協力をお願いします。

◎問合せ
・水産商工課
TEL 73・1092
・近森
Eメール
chiromi121@gmail.com